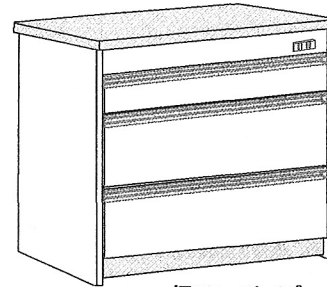
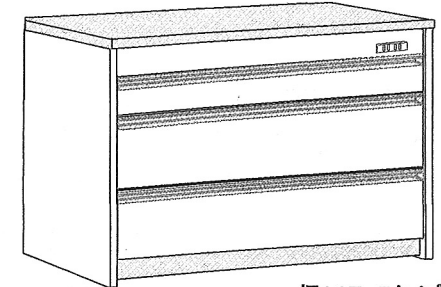


収納物を考えたキッチンカウンター 取扱説明書

幅88.5 ・ 幅117.5 (共通)



幅88.5タイプ



幅117.5タイプ

注意/重要

- コンセントは2口合計で1500Wまで使用できます。
- 天板の耐荷重は、約20kgです。
- 引き出しの耐荷重は、約10kgです。
- 引き出し内部のトレーの耐荷重は、約10kgです。
- 天板に貼ってある青いシートは、加工中や輸送途中による傷付き防止の保護シートです。ご使用の際には、はがしてください。

サイズ	幅88.5タイプ : 幅88.5 × 奥行45 × 高さ85cm 幅117.5タイプ : 幅117.5 × 奥行45 × 高さ85cm
素材	天板: NSSC180ステンレス 前板: ポリエステル化粧合板 側面・その他: クリーンイーゴス化粧合板(化粧繊維板)

取り扱い上の注意

- この度は「収納物を考えたキッチンカウンター」をお買い上げいただき、誠に有り難うございます。
- ご使用前に、この取り扱い説明書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
 - 事故防止や安全にご使用いただくため、「取扱説明書」を必ずお守りいただきご使用ください。
 - お読みになった後は、この説明書を大切に保管していただき、解体や移動をする際の取り扱いの分からない時にお役立て下さい。
 - 著しい汚れは、薄めた中性洗剤で落とし、直ちに乾拭きを行って下さい。
 - 天板に直接熱い物や濡れた物を置かないで下さい。変色や変形の原因になります。
 - 万一商品に不良や部品不足などの不都合がございましたら、下記までご連絡下さい。
 - お子様が1人でご使用にならないように、また、遊び道具にならないようにご家族の方は、十分ご注意をお願いします。

取り扱い説明書

この度は当社製品をお買い上げ頂き、誠に有り難うございます。この製品を正しくお使い頂くため必ずこの説明書をお読みにになり、製品の使用期間中はいつでもお読みにされるよう保管して下さい。

警告: ⚠	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定され、絶対に行ってはいけないことが書いてあります。
注意: ⚠	取り扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性が想定され、絶対に行ってはいけないことや、物的損害のみが発生が想定され、絶対に行ってはいけないことが書いてあります。
禁止: ⚡	は、「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は、具体的禁止内容です。

【設置方法】

- 警告:** ⚠ 地震などで家具が倒れてケガをすることがあります。建物の壁、床、天井等に市販の固定金具でしっかり固定して下さい。また、家具の上に物を置くと落ちてケガをすることがあります。
- 警告:** ⚠ 高温多湿の部屋では、カビ、ダニが発生しやすくなり健康を害することがあります。家具の裏側も風通しが良いよう壁から少し離したり、部屋の換気を良くして下さい。
- 警告:** ⚠ 直射日光や熱、冷暖房の風が直接当たらないようにして下さい。歪やくるいの原因になることがあります。
- 警告:** ⚠ 家具は水平を保つように堅い床面に置いて下さい。傾いたり、ガタツキのあるまま使っていると扉の開閉や引出しの出し入れがスムーズにできなったり、家具の強度が落ちたり、破損する原因となります。
- 警告:** ⚠ 家具などの上に積み重ねて使用される場合は、大変危険ですので脱落しないよう市販の固定金具でしっかり固定して下さい。

【使用方法】

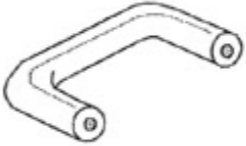


- 禁止:** ⚡ 家具を本来の目的以外に使用しないで下さい。家具の上で立ったり、飛んだり、踏み代わりをしたり、棚板や引出しに登ったり、また屋外で使用したり、絶対にして下さい。
- 禁止:** ⚡ キャスター付きの場合は、その上に立ったり、激しく動かしたり、押し回したり遊んだり、また規定以上の重量物を置いたりしないで下さい。倒れてケガをしたり、床を傷つけたり、他のものを壊したりすることがあります。
- 禁止:** ⚡ 引出しや引き手、棚の上に乗ったり、扉などにぶら下がったり、無理な力で引っ張ったりしないで下さい。家具が倒れてケガをすることがあります。
- 注意:** ⚠ 取り外しのできる棚は、棚受け金具を確実に取り付けして下さい。中途半端な取り付けでは、棚板が外れて物が落ち、破損やケガをすることがあります。
- 注意:** ⚠ 木材の接着剤（ホルムアルデヒド）などが残っている家具で、肌の弱い人はアレルギー症状をおこす事がありますので換気を十分にしてお取り除いて下さい。特に乳幼児の衣類などを収納される場合には特に注意して下さい。
- 注意:** ⚠ 引出しが付いている場合は、これをいっぱいに出すと抜け落ちてケガをすることがあります。又、一度に複数の引出しを引き出さないでください。加重が前方にかかり転倒する場合があります。
- 注意:** ⚠ 家具を移動するときは、落としたり倒したりして、ものを壊したりケガをすることがありますから注意して下さい。
- 注意:** ⚠ ガラスや鏡の付いた家具のお取り扱いには特に注意して下さい。強く開閉しますと、ハズレて破損し、ケガをすることがあります。
- 注意:** ⚠ 扉の開閉や引出しの出し入れの際には指を挟む恐れがありますので注意して下さい。特に小さなお子様を使用される際には十分注意して下さい。

【お手入れ方法】

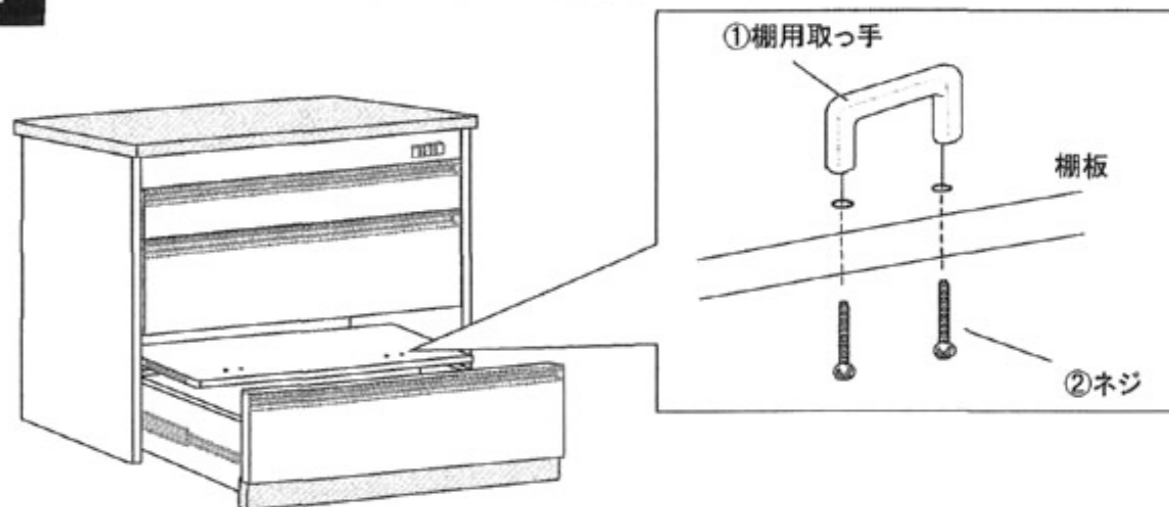
- 警告:** ⚠ 蝶番や脚の取付金具などの固定用ネジ類がゆるんでいないか時々点検し、ゆるみ始めたらしっかり締め直して下さい。ゆるんだまま使っていると家具が壊れてケガをすることがあります。また、家具の移動後も点検して下さい。
- 警告:** ⚠ 虫害を発見した場合には、直ちに殺虫や防虫処理をして下さい。他から入ったことも考えられるので放置すると虫害が広がる恐れがあります。

部品明細

※下図に描かれている部品が揃っているか、組立前にご確認ください。

①棚用取っ手...2個 	②ネジ...4本  (4×30mm)	※お客様に用意いただくもの。 プラスドライバー 
--	---	---

1 下段引き出し内の棚に取っ手を取付けます。



引き出しを抜く方法について

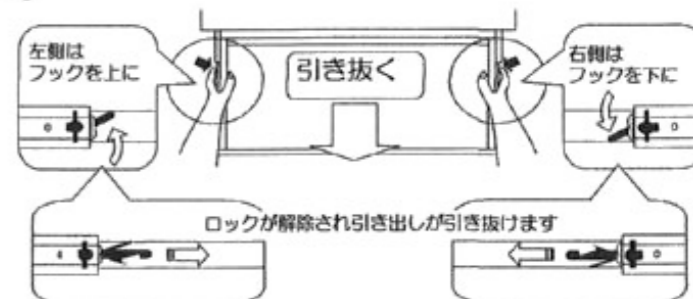
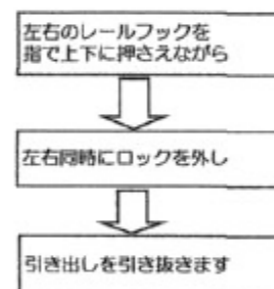
●フルオープンスライドレールの引き出しを引き抜く場合には、下図の要領で引き出しレールのロックを解除してから引き抜いてください。

①引き出しを通常に手前に一杯まで引き出します。

②引き出した後、左右のレールフックが見えますので 図Aのように指で、左側は上に、右側は下に向けながらロックを解除して引き抜きます。

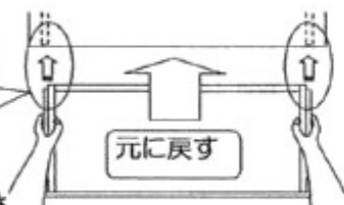


⚠ 引き出しは2人で、平行に引いてください。

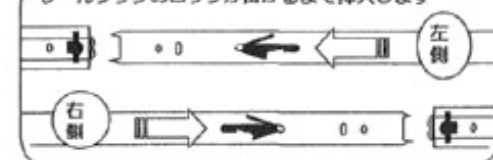


③引き出しを元に戻す場合

本体レールに引出しレールを差し込み、平行に引き出しを挿入します。



レールフックのロックが掛かるまで挿入します



⚠ 注意

必ず2人で平行に操作してください。傾いて挿入するとベアリングの破損原因になります